



購読料 年8,000円

送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所

京都府保険医協会

〒604-8162 京都市中京区烏丸通
蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄
カーニープレイス四条烏丸6階

電話 (075) 212-8877

FAX (075) 212-0707

編集発行人 久保 佐世



主な内容

府の福祉医療見直し議論(2面)

社保協総会で原発講演(3面)

『薬価基準』等の出版方針(4面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
 - ◆休業補償制度
(所得補償、傷害疾病保険)
 - ◆積立傷害保険
 - ◆自動車保険・火災保険
- 上記事業は(有)アミスが
取扱いしています。
☎075-212-0303

肺炎球菌ワクチンの公費助成を

京都胸部医会 会長と連名で 府内自治体に要請

協会は、京都胸部医会の川合満会長と協会理事長の連名にて、「高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める陳情書」を、9月26日に京都府および京都市に提出、27日にはその他25自治体に送付した。

成人用肺炎球菌ワクチン 月1日の時点で44都道府県は、全国において接種費用の公費助成を行う自治体が増えており、2011年5

月1日の時点で44都道府県は、全国において接種費用の公費助成を行う自治体が増えており、2011年5

は、医師の団体として、一人でも多くの高齢者を肺炎から守るために、自治体から国に対し、成人用肺炎球菌ワクチンの助成制度創設を求めるよう要望。また、併せて国の助成制度が確立するまでの間、自治体において、医師の団体として、一人でも多くの高齢者を肺炎から守るために、自治体から国に対し、成人用肺炎球菌ワクチンの助成制度創設を求めるよう要望。また、併せて国の助成制度が確立するまでの間、自治体において、

いて成人用肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成するよう要望した。

和束町が府内初助成

川合 満 京都胸部医会会長にきく
今回の自治体へのワクチン助成要請に関して、京都胸部医会の川合満会長を垣田副理事長らが10月14日に訪問し、その思いを伺った。

23価肺炎球菌ワクチンは、菌で薬効が認められない場合かなり有効で、80%以上の合に備えて、日頃からの予防ができるようにしています。

また、免疫力を高めることと併せて、口腔ケアも非常に大切です。感染症を引き起こす最大の原因は口腔内の細菌です。起床後すぐの歯みがき等、口腔ケアをすることが予防につながります。

高齢者の死亡の最大の原因は、肺炎です。成人用肺炎球菌ワクチンで、多くの肺炎が予防できれば、結果、医療費の削減にもなります。

現在、ワクチンを接種される方の人数は増加傾向に

主張

福島原発事故
故のあと、
「脱原発が大
きな潮流にな
りつつあり、
それをどう進
めるか」とも

に、事故対策、特に被曝対策が今と今後の課題であると思われるが、ここでは原発の別の側面について少し述べておきたい。

①原発では毎日のごとく、大小様々な故障、事故が起こっている。それを見つけた修理するのは、多くは被曝が起ころうる放射線管理区域である。さらに

②50年前、国は原発事故の予測を行った。それによれば最悪の場合、死亡720人(内部被曝による晩期死亡含まず)、被害総額3兆7000億円(同年の国

③45年前、国は原子炉立地審査指針の原則的立地条件として「大きな事故の誘

因となるような事象が過去これら国民に知らされず、13年後になって漏出し始めた。多数の死者が出る可能性を知らながら「安全神話」が流布され、国家経

④新しい(強化された)原発耐震基準が策定された。しかし策定に関わった地震学者から、現在ある原発が稼働可能な範囲に収まるよう設定されたとの疑義が出されたという。ならば福島原発をも含め合格も当然である。

ここに述べたいいくつかは、おそらくは我々が知り得た氷山の一角であろう。原発は政・産・学にわたる巨大システムであり、当然強力な管理機構を必要とする。さらにただ巨大というだけでなく危険性も大きく、未解決の問題を抱えたものではないだろうか。

その一環として、全国4都市でドクターズ・ランニングを企画し、10月16日に大阪でも開催された。秋晴れの大阪城公園には、近畿の近隣府県から約200人の医師・歯科医師らが参集。京都からも協会の関係理事など約20人がエントリートした。「医療再生」などとプリントされたそろいのTシャツを着て、多くの市民で賑わう大阪城公園を、ランニング(5キ

とウォーキング(3キ)をしながらアピールした。

◇◇
ドクターズ・デモンストレーション2011
日時 11月20日
(日)午後1時30分
場所 東京・日比谷野外音楽堂
主催 ドクターズ・デモンストレーション2011実行委員会(連絡先・全国医師ユニオン事務局 ☎03・5825・6138)

大阪城公園を走る医師たち、写真下は完走後の京都の参加者



Doctors Running 大阪

震災復興と医療再生をアピール

震災復興と医療再生に必要な診療報酬の改定を求め、全国の医師、歯科医師1000人以上が東京に集結して、アピールを行うドクターズ・デモンストレーション2011が11月20日に開催される。呼びかけ人には、植山直人・全国医師ユニオン代表、本田宏・NPO法人医療制度研究会副理事長や住江憲男・保国連会長などが名を連ねている。

その一環として、全国4都市でドクターズ・ランニングを企画し、10月16日に大阪でも開催された。秋晴れの大阪城公園には、近畿の近隣府県から約200人の医師・歯科医師らが参集。京都からも協会の関係理事など約20人がエントリートした。「医療再生」などとプリントされたそろいのTシャツを着て、多くの市民で賑わう大阪城公園を、ランニング(5キ

とウォーキング(3キ)をしながらアピールした。

◇◇
ドクターズ・デモンストレーション2011
日時 11月20日
(日)午後1時30分
場所 東京・日比谷野外音楽堂
主催 ドクターズ・デモンストレーション2011実行委員会(連絡先・全国医師ユニオン事務局 ☎03・5825・6138)

大阪城公園を走る医師たち、写真下は完走後の京都の参加者

医	界
寸	評

言葉は難しい。患者との話でもインフルエ

性もあるという話をする

と、まず全員がインフルエ

ンザと診断された学校など

で言う。胃がんだつたら

困るから、「念のために病

院で検査してもらいましょ

う」というと、これも「が

んと言われた」と近所の人

に話している▼そう取られ

ることは私も承知している

ので相当に気を付けている

が、やはり同じことである

。幸いこれらのことで関係

が悪化して困ったことは

ないが、気を付けないと医

事紛争の種になりかねない

と思っている▼政治の世界

でも失言が多い。現内閣に

おいても組閣早々に失言問

題で閣僚が辞任した。失言

によって無駄な議論がさ

れ、そのために多くの時間

が失われている。失言禍に

よって今までに多くの閣僚

が失われている。その中に

は能力のある閣僚も多かつ

たのではないと思う。多大

な損失である。政治家にと

って話すことは最重要の

能力なのだから、くだらない

失言で地位を失ったり、

議論の時間を失ったりせ

ず、わかりやすい言葉で

我々国民に語りかけて欲し

いものである▼医師、特に

開業医にとって会話は、

医療技術に勝るとも劣らな

い重要なものであり研鑽し

ていきたい。しかし、日常

診療においては話が長くな

ると聞いてもらえない。か

といつてわかりやすくする

ために、テレビでやるよう

なステレオタイプな説明は

したくない。やはり言葉は

難しい。(内)

京都府

福祉医療見直し議論始まる

子育て支援医療など年内とりまとめへ

京都府は第1回福祉医療制度検討会を9月30日に開き、制度見直し議論を開始した。委員は自治体担当者、研究者、医師など13人で、座長は澤田淳・京都府立医大名譽教授。今後は月1回程度の検討を経て、年内に取りまとめを行う。その上で市町村と協議し、可能なものから12年度の予算案に計上するとしている。

府は福祉医療制度について、子育て支援医療拡充の気運の高まりの一方で、高齢者が急速に増加するなど厳しい財政状況であることから、「安定的かつ持続可能な制度のあり方」を検討。10年8月に「福祉医療制度の検討に係るワーキンググループ」を設置し、全国や府内市町村の状況調査や府民アンケートを実施、制度見直しを行った場合の事業費推計等を報告書として11年3月にまとめた。福祉医療制度検討会は、この報告書を受け、「子育て支援医療の拡充等を中心に、福祉医療制度の見直しの内容及び時期を具体的に取りまとめる」として設置された。

一方協会は、8月8日に府知事、府議会議長に福祉医療制度の改善に関する要望を出した。

福祉医療制度の概要（府制度）

制度	区分	2割		3割			(1割)	1割	所得制限
		0～2歳 歳	3～6歳 歳	小1～ 小6	13～ 18歳	19～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	
子育て支援医療助成制度	子どもの入院	1医療機関200円/月		小学校卒業まで					なし
				3歳の誕生日まで					
	子どもの通院	1医療機関 200円/月	3000円/月	就学前まで					
母子家庭医療助成制度	母子家庭の児童	自己負担 なし			18歳(年度末)から				平成9年度の児童扶養手当の扶養義務者の所得制限額
	母子家庭の母				自己負担 なし				
重度心身障害児(者)医療助成制度	障害児(者)	自己負担 なし			後期高齢者の障害認定を受けていない者				障害児福祉手当・特別障害者手当の所得制限額
重度心身障害老人健康管理事業制度	障害者(高齢者)	対象・身障1・2級 ・IQ35以下 ・身障3級以下IQ50以下			後期高齢者医療の被保険者			自己負担 なし	特別障害者手当の所得制限
老人医療助成制度	高齢者	対象(特別世帯)・国民年金法別表に該当する障害を有する者 ・寝たきりの者・ひとり暮らしの者 ・老人世帯に属する者 など(一般世帯)・特別世帯に該当しない者			65歳の誕生日から			70歳の誕生日まで	特別世帯:老齢福祉年金の所得制限額 一般世帯:所得税非課税世帯
					1割(一定以上所得者3割)				

「人体の不思議展」民事訴訟
口頭弁論で違法性訴え



報告会での宗川氏(左)と小笠原弁護士

協会は、「人体の不思議展」は遺体に対する尊厳を著しく蹂躪し、遺体を営利目的に使用するなど重大な倫理的問題があるとして、同展の開催中止の運動に取り組んできた。その中で、

が同展の違法性を明らかにし、同展を一度と開催させないためにも重要な裁判であるとして支援してきた。その第1回口頭弁論が9月21日、京都地方裁判所で行われ、台風のさなか24人が傍聴。協会から垣田副理事長ら4人が参加した。同展の問題を訴え続けた福島県立医科大学講師の末永恵子氏も駆け付けた。

裁判は実行委員会側が出席しない中で行われたが、宗川氏の弁護士である小笠原弁護士が裁判官に対して証拠品(人体の不思議展のパネル等)の提示を行い、「人体の不思議展の実行委員会」を被告として訴訟を行うに至った経緯を説明。同展は医学倫理的にも大きな問題があるが、医学界で解決できる問題だけではない。展示されている標本は本物の遺体であり、それを専ら営利目的で展示することの違法性を司法の場で明確にすることが重要と述べた。続いて宗川氏が意見陳述。興味本位としか思えない解剖標本やポーズをとらされた標本が、顔のわかる状態で、少なからず展示されており遺体のプライバシーの侵害であること、死体の商業展示は死者に対する冒瀆で、死者の尊厳を貶める行為は、文化地帯である京都岡崎にふさわしくないこと、この地に住まう者として、人間性を無視した人体の不思議展によつて私の心はずっかり乱され、平穩に生活する権利が著しく侵害されたことによる精神的苦痛に対して損害賠償請求を訴えた。

裁判終了後、京都弁護士会館において報告会を開き、小笠原弁護士から裁判の目的と争点などが説明されることも、宗川氏からは訴訟に対する思いが語られた。参加者からは意見や励ましの言葉が話され、「医の倫理や、戦争と医学」にもつながる問題があること、科学者の社会的責任を考える必要があることなどが報告された。なお、第2回目の裁判は争点整理となるため非公開となる。

中心となったのは、①子育て支援医療助成制度、②母子家庭医療助成制度、③訪問看護療養費。①は、対象児童の拡大や負担金額の軽減のほか、各市町村間での助成の平準化も求められた。一方、自己負担を0円とすることによる医療機関のコンプライアンスを危惧する声もあった。②は現在、母子家庭に限定されている医療助成制度の対象を、父子家庭も対象に追加すべきとの意見が相次いだ。府からは「所得制限額と父子家庭への助成は双方で考えていく必要がある」とし、所得制限額を引き上げる可能性も示唆された。③は、今や全国の都道府県では43団体で訪問看護療養費が福祉医療制度の対象となっており、京都府においても早急に対象とするよう求められた。協会は引き続き、検討会の経過について注視するとともに、制度の拡充を目指して活動する。

毎回好評! 接遇マナー研修

次回は宮津で中級コースを開催予定

楽しく・わかりやすく・ためになると、毎回多くの参加者から好評をいただいている「中級コース」医療・診療所での接遇マナー研修会を9月1日に京都府保険医協会会館で開催。有限会社アミスの協賛で、40人が参加した。本研修ではすっかりおなじみとなった茂木治子氏(元日本航空客室乗務員)が講師を務める。

笑顔こぼれる研修会(執筆者とは関係ありません)



雰囲気作りの大切さ

いちおか泌尿器科クリニック(中東)

蔣池 早希

室乗務員)を講師に、仕事の進め方・仕事の管理の基本・個人の目標と組織の目標との調和、良いコミュニケーションとはなどについてゲームも取り入れながら研修した。

当日参加したお二人の参加記を紹介する。今回は会員医師のご参加もいただき、参加記もいただいた。また、同内容で11月26日に宮津で研修会を開催するので、普段は京都市内まで来ていただけない北部の会員医療機関におかれては、ぜひこの機会にご参加いただきたい。(下掲)

今回の研修は、いちおか泌尿器科クリニックからは私だけの参加だったので、若干緊張していました。他の参加者の方々も緊張した面持ちで、初めは全体的にぎこちない雰囲気でしたが、グループワークを重ねるうちに、徐々に全体の空気が和んでいくのが感じられました。講師の茂木先生と参加者一人ひとりが、良い雰囲気を作り出すことができました。

面持ちで、初めは全体的にぎこちない雰囲気でしたが、グループワークを重ねるうちに、徐々に全体の空気が和んでいくのが感じられました。講師の茂木先生と参加者一人ひとりが、良い雰囲気を作り出すことができました。

感謝の気持ち、相手の立場になること、そして、より良い結果につながることで、私は接遇を通じて、不安や緊張を抱えて来院される患者さんの心を少しでも元気づけられるよう、心がけたいと思います。

これからの茂木さんの患者様がいらっしゃって、色々な出来事があるかもしれませんが、今回の研修を受けて、何事もプラスに受け止めて、より良いコミュニケーションや接遇を実践していこうと改めて強く感じました。患者様に「ここに来ると元気をもらえる」と思っていただけのような居心地の良いクリニックになるよう、これからも努めていきます。

自院の接遇を見直す

医療法人社団 大林医院 院長 大林 敬二

今回の接遇研修会に、当院から11人と多人数にも関わらず参加させていただきありがとうございました。開院してから、おかげさまで患者さんの数も増え、スタッフの数もかなり増えました。忙しく毎日をごこなしてくれるスタッフとともに、もう一度接遇について考えることができる機会がないかと探しておりましたので、この講習会に参加できたことを大変うれしく思います。

私自身、病院に患者として行くことが増えました。そこで感じるのです。接遇教育が十分にされておらず、不愉快な気分が帰る時、当院ではどうだろう？スタッフの数もかなり増え、不愉快な気分が帰る患者さんはどれくらいいるのだろうか？

今回の講習会の後、感想をそれぞれスタッフに書いてもらいました。やはり、一番多かったことは、コミュニケーションの大切さ、態度・行動・判断・対応で患者さんに大きな影響を与えるのだということです。

それぞれ、自分自身の接し方を見直すいい機会になったと確信しております。また、患者さんだけでなく、身近な家族・友人・スタッフとの接し方も付き合いたく、身近な家族・友人・スタッフが良くなればなるほど、マンネリ化してしまい相手を思いやる気持ちが薄れがちになります。だからこそ、もう一度日常生活から見直していきたいと思えます、大変前向きな意見もでておりました。

一人ひとりが、医院の顔として恥ずかしいようにならない、患者さんが安心して足

「医院・診療所での接遇マナー研修会」

中級コース in 宮津

※大変ご好評をいただいている研修会です。今回は北部会場で開催いたします。お申し込みは協会事務局までお願いします。また、申込み後にキャンセルする場合もご連絡をお願いします。

日時 11月26日(土) 午後3時～5時

場所 みやづ歴史の館

(宮津市鶴賀2164 ☎0772-20-3390)

研修内容 仕事の進め方・仕事の管理の基本・個人の目標と組織の目標との調和、患者さんとのコミュニケーションの取り方についてなど、ゲーム形式を取り入れて体験しながら楽しく学びます。

講師 茂木 治子氏(元日本航空客室乗務員)

定員 60人 協賛 有限会社アミス

京都社保協が第33回総会 飯田理事が原発問題で講演



原発問題で講演する飯田理事

を上げてきた。この到達点に安住することなく、国民生活を守る立場で活動を強めていきたい」と述べた。続いて記念講演として、

協会長の飯田哲夫理事が「隠された原発を見るために、事故・被曝・電力」と題して講演。核分裂の仕組みや原子炉の構造を説明し、核分裂によりできる核分裂生成物(死の灰)である放射性物質が長い間放射線を出し続けることを指摘。そして今回の福島原発事故がどうして起こったのかを解説し、放射線によってどのように被曝するのかをわかりやすく説明した。原発は燃料にウランやプルトニウム

を使っており日常的にも放射性物質を出し、ひとたび事故を起こしたら人間の手に負えないことを強調した。原発が作り出した放射性廃棄物の処理をできないにもかかわらず建設し動かし続けている。「トイレのないマンション」といわれる所以であるが、このような原発を一刻も早く停止させることが必要だと訴え

た。私たちは、私たち自身の生活のあり方も見直しながらか、脱原発への取り組みを進めましよう」と締めくくった。

次いで、総会議案の提案が行われ、現在の情勢と2010年度の取り組み報告及び11年度の取り組み方針等が報告・承認された。その後、津田議長をはじめとする新役員体制を承認し、終了した。

シリーズ 環境問題を考える

- 110 -

台風12号による土砂崩れのニュースを見て



台風12号被害報道より

大峰の山を歩いたときの様子を思い出しました。洞川から上がったいくと、周りはすべて植林された杉林です。ブナなどの広葉樹林の樹林帯から登山道が始まるアルプスの登山とはまったく様子が違っています。近畿の山は登山道では、杉の木の植林帯から始まるのは日常なのであまり気に留めていなかったのですが、今回多くの被害が出て、その映像を見ると改めてそのことが頭をよぎります。

林業振興政策が図られ、多くの木材生産が行われているのですが、人間に被害がなすを支援してきた林業がもたらす被害が、皮肉なことに、この林業振興政策が、多くの住民の命を奪う結果とな

戦後植林されたスギの木が、45年以上を経て、日本じゅう、どここの山間部も危険がいっぱいです。平坦な山はまだいいのですが、十津川のような急峻な山々では、林業の木材生産を低地部分にとどめるべきでした。

回多くの被害が出て、その映像を見ると改めてそのことが頭をよぎります。

実際に、今回

日本の国土は変化に飛んでいるが、急な自然災害が甚大な被害をもたらす多くの命を奪います。災害に強い森作り(緊急防災林整備、里山防災林整備など)を緊急に推進していかなければならないことを政府は認識すべきです。

(京都府歯科保険医協会 理事・平田 高士)

保険診療



訪問点滴注射の算定について

Q、週3日の訪問点滴注射の指示を行いました。患者さんが入院されたり、逆に回復されたりして在宅患者訪問点滴注射管理指

導料の算定要件を満たさなくなった場合、すでに実施した点滴の薬剤料はどのようになりますか。

A、薬剤料は算定できません。その場合、レセプトにその旨を記載して下さい。同様に3日の指示を行い、結果として医師が1日、看護師が2日間行った場合も、看護師が行った点滴の薬剤料は算定できません。また、訪問診療が行われた日から看護師による訪問点滴注射が行われた場合、同日の在宅患者訪問看護・指導料は算定できませんが、3日目の点滴注射の日には当該管理指導料が算定できます。なお、在宅中心診療・養護指導管理料または在宅悪性腫瘍患者指導管理料を算定した場合には、当該管理指導料は算定できません。

第10回文化講座～歴史編～ 戦国に生きた女性「お江」を巡って

日時 11月6日(日) 午後2時～
場所 京都府保険医協会・会議室
講師 国際日本文化研究センター教授 笠谷 和比古氏

参加費 無料
定員 40人(先着順・要申込)
内容



江(ごう)は、戦国という時代に翻弄された三姉妹の三女。浅井長政とお市の間に生まれた江は、戦国の世のならいとはいえ激変する運命に翻弄されました。小谷城の戦いでは、父・浅井長政を、北庄城の戦いでは母・お市を、そして大坂の陣では姉の淀殿を失い、また自らは3度の結婚を経験するなど、波乱万丈の一生を送りました。しかし「江」はその人間関係において、当時の社会で傑出した地位にいました。近世という時代の幕開けは、彼女とともにあったといっても過言ではないほどです。本講座では、過酷な運命に翻弄されつつも時代を切り開き、表舞台に立った「江」の生き様にスポットを当てます。

環境対策学習会「原発を知る・被曝を知る」

日時 11月12日(土) 午後3時～
場所 登録会館大ホール(烏丸通御池上ル)
講師 京都府保険医協会 理事 飯田 哲夫
参加費 無料(要事前申込)
共催 京都府保険医協会 京都府歯科保険医協会

第22回 環境ハイキング～ 錦秋の西山山腹古刹と外環工事の始まった西山山麓を巡る

日時 11月23日(水・祝) 午前9時～
※当日の降水確率60%以上の場合は中止
集合 午前9時・阪急東向日駅西改札前
行程 阪急東向日駅→タクシー分乗→金蔵寺→逢坂峠→杉谷→善峰寺→三鈷寺→灰谷→石作→正法寺→大原野神社→九社神社→沓掛
参加費 無料・交通費自弁(昼食・飲料・雨具などは各自ご用意ください)
主催 京都府保険医協会・京都府歯科保険医協会

第22回 環境ハイキング～ 錦秋の西山山腹古刹と外環工事の始まった西山山麓を巡る

日時 11月23日(水・祝) 午前9時～
※当日の降水確率60%以上の場合は中止
集合 午前9時・阪急東向日駅西改札前
行程 阪急東向日駅→タクシー分乗→金蔵寺→逢坂峠→杉谷→善峰寺→三鈷寺→灰谷→石作→正法寺→大原野神社→九社神社→沓掛
参加費 無料・交通費自弁(昼食・飲料・雨具などは各自ご用意ください)
主催 京都府保険医協会・京都府歯科保険医協会

改定版 医療安全対策の 常識と工夫

47

医療機関は基本的に有資格者の集団で、それぞれの専門技術を修得した方々によって運営されています。しかしながら、その専門を学ぶ課程で患者さんへの医療以外の対応(接遇など)や医療安全対策については、あまり学習する機会がなかった様子が窺えます。

医療安全対策の実践 ②

「医療安全研修会」

なことを言ってもらえないのが現状でしょう。そこで、その役割を担うのは医療機関とならざるを得なくなり、更に、医療法で定められた研修に相当することも、日本医師会生涯教育制

を、担当理事や弁護士、事務局を医療機関まで派遣して開催することが可能で

ちには絶大な効果が出ることは限りませんが、研修会を経験した多くの医療機関は、その後、紛争が減少、ある

いは紛争が発生しても事後対応がスムーズに行われている様子が窺えます。これは研修会が得た知識の実践と共に、医療機関の管理者の「医事紛争発生を阻止するんだ」といった、強い問題意識を各従事者に知らしめた結果のようです。つまり、研修会開催は知識やテクニックの伝授以外にも、管理者の姿勢を示す良い機会となつていようです。

次回、医療安全対策の要ともいえる、医療安全担当についてお話しします。

代議員月例
アンケート⑥

『薬価基準』『薬効別薬価表』 協会新点数関連出版物について

京都府保険医協会は、2年に1度の薬価改定に対応して、1961(昭和36)年から『薬価基準』を作成して、全会員に無料配布してきた。2004(平成16)年改定版からは、掲載内容に効能・用法を追加、06年改定版から禁忌を追加した。また、06年改定版から『薬効別薬価表』を分離して、会員が改定からすぐに対応できるように、薬効別薬価表を調べられるように対応してきた。

- ### 12年度改定時の薬価関連出版方針
- ・『薬価基準』2012年度改定版は3月末に発行。
 - ・『薬価基準』に「薬効別薬価」の比較表の内容を追加(ページ数は同程度に)。
 - ・薬価改定告示後、すぐに薬価を知りたい会員に対する対応は別途検討。

図5『薬効別薬価表』について、ご存知ですか？

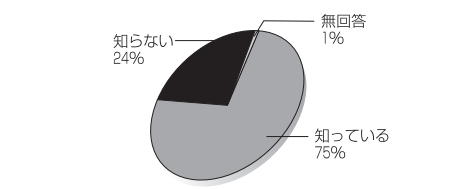


図6『薬効別薬価表』は活用していますか？

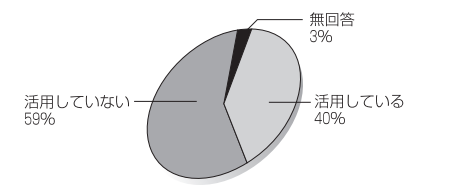


図7『薬効別薬価表』を活用するにあたって重宝している理由は何ですか？(複数回答可)

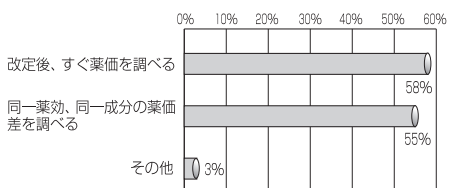


図8『薬効別薬価表』の無料配布を止めた場合、先生は？

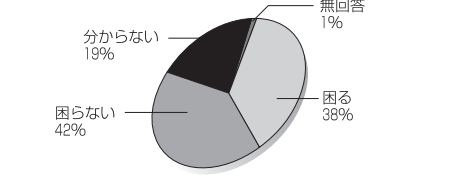


図1『薬価基準』についてご存知ですか？

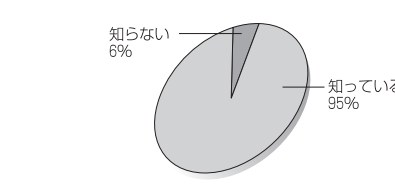


図2『薬価基準』は活用していますか？

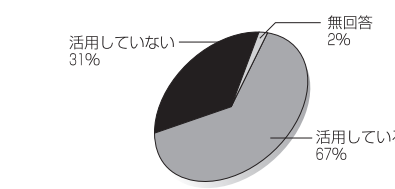


図3『薬価基準』を活用するにあたって重宝している理由は何ですか？(複数回答可)

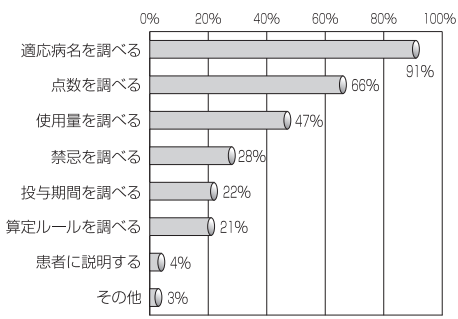
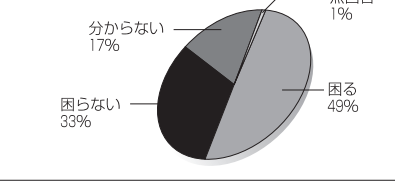


図4『薬価基準』の無料配布を止めた場合、先生は？



しかし、レセコンの普及に従い、薬価改定情報がレセコン業者から光ディスク、オンライン等で提供されるようになり、『薬価基準』『薬効別薬価表』の使用頻度が落ちたとの意見が協会に寄せられるようになってきた。そのため、8月5日に代議員・予備代議員190人から、回収率は53%だった。結果はグラフの通り。『薬価基準』『薬効別薬価表』の無料配布を止めた場合、先生は？

「困る」方は49%と約半数に達しているのに対し、『薬効別薬価表』は、無料配布を止めても「困らない」方は42%で、「困る」方の38%を上回った(図4、8)。

以上の結果から、協会では、12年度改定時の薬価関連出版物について、従来の『薬効別薬価表』に『薬効別薬価表』の比較表の内容を加え、活用していない方が59%に上り、12年3月末に出版することとしたので、会員各位にはご承知願いたい。

なお、『薬価基準』の活用にあたっては、「適応病名を調べる」91%、「使用量を調べる」47%等の回答率が、薬効などにも活用できると分かるように、同書の内容が、高くなる(図3)。

また、薬価改定告示発出後、すぐに薬価を知りたい会員への対応は別途検討する。

計 報

長谷川正幸氏(享年81、右京) 7月27日逝去。
中島宣之氏(享年89、下京西部) 8月7日逝去。
島岡美代子氏(享年85、下京西部) 9月15日逝去。
芳竹敏郎氏(享年70、亀岡) 10月1日逝去。
松尾裕氏(享年82、下京東部) 10月2日逝去。

11月の相談室

島村修氏(享年73、府立医大) 10月3日逝去。
謹んで哀悼の意を表します。

掲示板

生かそう憲法守ろう9条
11・3憲法集会in京都

講演「はだしのゲン」
参加費 無料
※集会終了後(3時40分頃)に京都市役所までアピールしながらウォーク

主催 憲法9条京都の会(☎050・7500・8550)

11月9日(水)午後2時、
担当Ⅱ竹内建築士
11月17日(木)午後1時、
担当Ⅱ三井生命のFIC
11月24日(木)午後2時、
担当Ⅱ藤田税理士

11月9日(水)午後2時、
担当Ⅱ江頭弁護士
11月17日(木)午後2時、
担当Ⅱ河原社労士
11月24日(木)午後2時、
担当Ⅱ藤田税理士

11月9日(水)午後2時、
担当Ⅱ江頭弁護士
11月17日(木)午後2時、
担当Ⅱ河原社労士
11月24日(木)午後2時、
担当Ⅱ藤田税理士

老いて後 補 遺

谷口 謙 (北丹) — < 1 >

父の文字

ひょう へい 続々 漂萍の記

古い雑誌を整理していたら、昭和17年10月1日発行の『学生』の1冊を見つけた。表紙の右端に、保存、78頁と父の字が記してある。ああ、懐かしい。父は読書家だった。毎月「中央公論」「改造」「文芸春秋」等々を買求め、夜になると書齋にこもり読み耽っていた。そしてそれと感ずるものがあれば、必ず表紙に、保存と記し、その部のページを書いていた。多くの文章が一段雑誌に掲載され活字化されたのが、たまらなく嬉しかったのだらう。前に何回か書いたが、ぼくは父の末子で、溺愛の

対象だった。「学生」はもともと研究社から発行された受験雑誌だったから、受験の体験記事を集めており、それにぼくがたまたま松江高校受

験記を投稿したのである。「無刺激な田舎中学から」と題し、松江高校、春夜夢巧と校別とペンネームが記してある。内容はサブタイトル「田舎中学の悲しさ」「各科の準備法」「どの位で

して徒然草、方丈記、を讀み、物理は昭和物理問題集。直前に総仕上げを使つた。国史にかの有名な大川周明の二千六百年史、他に藤川氏の同名題の本。化学は総仕上げ本と教科書、

等々。ちなみに大川本は当時のベストセラーズで父が買っていた。「どの位でできたか」は己の予想点数を記した。

高校に入つて最初の夏休みが終わり、自習寮に帰つてしばらくしての研究社からの通知。送本で、ぼくは非常に嬉しかった。ただぼくの知らぬ間に、同室の滝野も読んだらしく、ひどく辛口の批評をした。

滝野の奴、ひがんでいるな。ぼくはひそかに思い黙殺した。他にこの文章を誰が読んだらう。ほとんどないだろうと思っていたが、

いや、宮津中学の同級で5年生に進級していた者は目を通したかもしれない。松江高校理科へ四修で入ったのは、ぼく1人だったから。無刺激な田舎中学から、というタイトルは編集者がつけたもので、現実には宮津中学でもかなり厳しい競争があったのだ。

古い雑誌を読むのは懐かし、かつ面白かった。巻頭言は、大政翼賛会文化部長、高橋健二郎。「誇りを

もって慎ましく」で編集後記は「回顧板」と銘打って「大東亜戦争を勝ち抜くために、単に軍備を充実するだけでなく、国内のいろ

いろな制度にも改変を加え、国家の総力をあげて必勝不敗の体制を整えなければならぬことは申すまでもありません」と元気がいい。当時嫌となるほど聞かされた言論である。この雑誌の価格は40銭である。賞金というが、原稿料なるものは確かに貰ったが、金額は覚えていない。

雑誌は今にも崩れそうである。70年にも近い古い古い昔の話。愛情のこもった父の「保存」の文字。いま某日。懐かしさをこめ父のことを思っている。

(引用の文章の漢字、仮名遣いは現代風にした)

11月のレセプト受取・締切

基金	9日(水)	10日(木)	14日(月)
国保	○	◎	◎

※○は受付日、◎は締切日。
午前9時～午後5時。

地区医師会との懇談会 当面の予定

■西陣・上京東部・京都北医師会
日 時 10月27日(木)
懇談会：午後2時～
「指導」情報交換会：3時30分～4時
場 所 京都府保険医協会・会議室